

## 2026年度第1回グリーンチャンネル放送番組審議会 議事の概要

1. 日時 2026年6月13日(土曜) 11:00~12:30

2. 場所 東京競馬場 会議室

### 3. 出席者

#### 《審議委員》

石井 秀司 委員長、小林 善一郎 副委員長、有吉 正徳 委員、井口 保子 委員  
おがわじゅり 委員、塩田 忠 委員、白川 次郎 委員、山田 隆雄 委員

#### 《財団役員・職員》

勝見 浩二 理事長、松本 文武 常務理事、森田 健児 常務理事、辻 智之 理事  
濱田 暁彦 経営企画部長、長峰 芳憲 編成制作部長、高橋 洋介 調査役  
鮎田 貴文 調査役、北岡 将司 主査

### 4. 内容

(1) 報告事項『2025年度第2回放送番組審議会の議事概要について』

(2) 審議事項①『2025年12月7日~2026年6月13日の放送番組について』

(3) 審議事項②『指定番組について』

①馬産地通信プレゼンツ~フォーエバーヤング誕生物語(2026年1月1日放送)

②調教師・国枝栄 最後の1年 前編/後編

・前編(2025年12月30日放送)

・後編(2026年4月1日放送)

### 5. 審議内容

(1) 報告事項『2025年度第2回放送番組審議会の議事概要について』

前回の議事概要の公表について、放送法第175条および同法施行令第8条の規定に基づき総務省に提出完了および同時に財団ホームページにて公開している旨を報告。

(2) 審議事項①『2025年12月7日~2026年6月13日の放送番組について』

①中央競馬全レース中継のキャスター陣について

(委員) 今年の1月から変更された全レース中継キャスターに対する視聴者の反応はどうか。

(事務局) 全体的に高評価を得ている。また、新加入の吉宮るりさんについても、競馬に関する知識も積極的に吸収しようと努力されていて、好意的に受け止められている。

(委員) グリーンチャンネルのキャスター陣は全体的にレベルが高いと感じている。今後も期待したい。

(事務局) 貴重なご意見として頂戴するとともに、引き続きキャスター陣のレベルアップに努めてまいります。

#### ② 番組づくりにおける工夫について

(委員) 専門チャンネルならではの切り口で、コメントやテロップの工夫、新馬戦の最新情報などを1週間の編成の中に上手く挟み込み、コアなファンを喜ばせる仕組みを作してほしい。

(事務局) 貴重なご意見として頂戴いたします。

#### ③ 水曜馬スベ! について

(委員) 「純烈」の酒井一圭氏が出演する番組が面白かった。競馬に対する造詣が深く、彼の喋りやキャラクター、アドリブ力等、目を引くものがある。他の番組でも起用できないか。

(事務局) 貴重なご意見として頂戴いたします。

#### ④ 競馬ブロスについて

(委員) 出演者は調教師・騎手を中心となっているが、今後も厩舎関係者を中心とした出演者を予定しているのか。また、視聴者からどのような評価を受けているのか。

(事務局) 基本的には厩舎関係者が中心となる。また、バラエティ番組としては「競馬場の達人」と並んで、視聴者から高い評価を得ている。

### (3) 審議事項②『指定番組について』

#### ① 馬産地通信プレゼンツ～フォーエバーヤング誕生物語 (2026年1月1日放送)

(委員)

- ・一般ファンを驚かせる要素として獲得賞金額の紹介があればよかった。中央競馬では新馬戦の1勝のみだが、地方・海外を合わせると約49億円も稼いでいる。この金額をどこかでパッと出せば、番組に大きなインパクトが出たのではないか。
- ・インタビュー映像が淡々と流れるシーンが多く、文字テロップ等も活用するなどの視覚的工夫が欲しかった。
- ・4回繰り返し見て初めて、各セクションの繋がりや納得感が得られた。テロップの表示時間を少し長めにするなど、視聴者への親切さが必要であった。
- ・ノーザンファームの育成や厩舎のスタッフが次々と登場し、非常に高度で重要なポイントを語っている。しかし、普通の視聴者は1回しか見ないため、サラッと流れてしまうとなかなか伝わりにくい。
- ・この番組は、雑誌「Number」との共同取材と聞いており、連動性も含め企画自体は大変素晴らしく、ノーザンファームという組織・システムの凄さを再認識させる充足感のある番組ではあった。

(事務局)

- ・貴重なご意見として頂戴いたします。ご指摘いただいた事項については、今後の番組制

作に活かしてまいります。

②調教師・国枝栄 最後の1年

前編（2025年12月30日放送）/後編（2026年4月1日放送）

（委員）

- ・国枝元調教師の人柄がよく出ていた。1年間密着したスタッフの苦労が浮かぶ。
- ・定年前の最後の1年という性質上、厩舎としては次代への引き継ぎがメインとなるため、劇的な大活躍などの盛り上がりには欠け、2時間という枠に対してやや寂しさを感じる部分もあった。
- ・最後の1年に密着ということであれば、前編の放映時期を引退後に後編とまとめて放映する等、放映のタイミングをもう少し考えてもよかったのではないか。
- ・調教管理の導入や、アーモンドアイに見られるような3歳時のローテーション改革など、競馬界のパイオニアとしての強い意志が随所に散りばめられていた。また、業界へのシビアな提言（物申す姿勢）などもきちんと残されており、素晴らしい構成であった。

（事務局）

- ・貴重なご意見として頂戴いたします。ご指摘いただいた事項については、今後の番組制作に活かしてまいります。

以上